

1. 鉱泉の定義と分類

1-1 鉱泉の定義

鉱泉とは、地中から湧出する温水および鉱水の泉水で、多量の固形物質、またはガス状物質、もしくは特殊な物質を含むか、あるいは泉温が、源泉周囲の年平均気温より常に著しく高いものをいう。

温泉法にいう「温泉」は、鉱泉の他、地中より湧出する水蒸気およびその他のガス（炭化水素を主成分とする天然ガスを除く。）を包含する定義である。

鉱泉は、温泉法第2条別表に従い、常水と区別する（第1-1表）。

鉱泉のうち、特に治療の目的に供しうるものを療養泉とし、第1-2表により定義する。

第1-1表 鉱泉の定義（常水と区別する限界値）

1. 温度（源泉から採取されるとき温度）摂氏25度以上
2. 物質（下記に掲げるもののうち、いずれかひとつ）

物質名	含有量 (1 kg 中)
溶存物質（ガス性のものを除く）	総量 mg 以上 1,000
遊離二酸化炭素 (CO ₂) (遊離炭酸)	250
リチウムイオン (Li ⁺)	1
ストロンチウムイオン (Sr ²⁺)	10
バリウムイオン (Ba ²⁺)	5
総鉄イオン (Fe ²⁺ +Fe ³⁺)	10
マンガン(II)イオン (Mn ²⁺) (第一マンガンイオン)	10
水素イオン (H ⁺)	1
臭化物イオン (Br ⁻)	5
ヨウ化物イオン (I ⁻)	1
フッ化物イオン (F ⁻)	2
ヒ酸水素イオン (HAsO ₄ ²⁻) (ヒドロヒ酸イオン)	1.3
メタ亜ヒ酸 (HAsO ₂)	1
総硫黄 (S) (HS ⁻ +S ₂ O ₃ ²⁻ +H ₂ S に対応するもの)	1
メタホウ酸 (HBO ₂)	5
メタケイ酸 (H ₂ SiO ₃)	50
炭酸水素ナトリウム (NaHCO ₃) (重炭酸ソーダ)	340
ラドン (Rn)	20×10 ⁻¹⁰ Ci = 74Bq 以上 (5.5 マッヘ単位以上)
ラジウム塩 (Ra として)	1×10 ⁻⁸ mg 以上

第1-2表 療養泉の定義

1. 温度（源泉から採取されるとき温度）摂氏25度以上
2. 物質（下記に掲げるもののうち、いずれかひとつ）

物質名	含有量 (1 kg 中)
溶存物質（ガス性のものを除く）	総量 mg 以上 1,000
遊離二酸化炭素 (CO ₂)	1,000
銅イオン (Cu ²⁺)	1
総鉄イオン (Fe ²⁺ +Fe ³⁺)	20
アルミニウムイオン (Al ³⁺)	100
水素イオン (H ⁺)	1
総硫黄 (S) (HS ⁻ +S ₂ O ₃ ²⁻ +H ₂ S に対応するもの)	2
ラドン (Rn)	30×10 ⁻¹⁰ Ci = 111Bq 以上 (8.25 マッヘ単位以上)

1-2 鉱泉の分類

(1) 泉温の分類

鉱泉が、地上に湧出したときの温度、または採取したときの温度を泉温という。鉱泉を泉温により次のとおり分類する。

		泉温
温泉	冷鉱泉	25℃未満
	低温泉	25℃以上 34℃未満
	高温泉	34℃以上 42℃未満
	高温泉	42℃以上

(2) 液性の分類

鉱泉の液性を湧出時の pH 値により次のとおり分類する。

酸性	pH 3 未満
弱酸性	pH 3 以上 6 未満
中性	pH 6 以上 7.5 未満
弱アルカリ性	pH 7.5 以上 8.5 未満
アルカリ性	pH 8.5 以上

(3) 浸透圧の分類

鉱泉の浸透圧を、溶存物質総量または凝固点（氷点）により次のとおり分類する。

		溶存物質総量 (g/kg)	凝固点
低張性	8 未満		-0.55℃ 以上
等張性	8 以上 10 未満		-0.55℃ 未満
			-0.58℃ 以上
高張性	10 以上		-0.58℃ 未満

鉱泉を泉温、液性、滲透圧について、次の例示のとおり分類命名する。

例示	等張性	中性	高温泉
	滲透圧	液性	泉温

この分類により命名した名称は、1-3に示す、療養泉としての泉質名に併記するのが通例である。

1-3 療養泉の泉質の分類

療養泉は、その利用に資する目的で、含有する化学成分に基づいて、次のとおり分類する。

(1) 塩類泉

溶存物質質量（ガス性のものを除く）が1g/kg以上のものを陰イオンの主成分に従い次のとおり分類する。主成分とはミルバル（mval）値が最も大きいものをいう。

1) 塩化物泉

塩化物イオンを主成分とするもので陽イオンの主成分により次のとおり細別する。

(a) ナトリウム—塩化物泉

陽イオンの主成分がナトリウムイオンである塩化物泉をいう。本泉のうち、ナトリウムイオン5.5g/kg以上、塩化物イオン8.5g/kg以上（塩化ナトリウムとして240mval/kg以上）を含むものをナトリウム—塩化物強塩泉という。

(b) カルシウム—塩化物泉

(c) マグネシウム—塩化物泉

2) 炭酸水素塩泉

陰イオンの主成分が炭酸水素イオン（ HCO_3^- ）であるもので、陽イオンの主成分により更に次のとおり分類する。

(a) ナトリウム—炭酸水素塩泉

(b) カルシウム—炭酸水素塩泉

(c) マグネシウム—炭酸水素塩泉

3) 硫酸塩泉

陰イオンの主成分が硫酸イオンであるもので、陽イオンの主成分により次のとおり分類する。

(a) ナトリウム—硫酸塩泉

(b) マグネシウム—硫酸塩泉

(c) カルシウム—硫酸塩泉

(d) 鉄(II)—硫酸塩泉

(e) アルミニウム—硫酸塩泉

酸性の硫酸塩泉については、 SO_4^{2-} イオンと HSO_4^-

イオンのmval%を合計して主成分かどうかの検討を行う。*

(2) 単純温泉

溶存物質質量（ガス性のものを除く）が1g/kgに満たないもので、泉温が25℃以上のものを単純温泉という。またpH8.5以上の単純温泉をアルカリ性単純温泉という。

(3) 特殊成分を含む療養泉

第1-3表に掲げる物質を限界値以上に含有する療養泉を次のとおり分類する。

第1-3表 療養泉の特殊成分と限界値

物質名	限界値 (1kg中)
(a) 遊離二酸化炭素 (CO_2)	mg以上 1,000
(b) 銅イオン (Cu^{2+})	1
(c) 鉄(II)および鉄(III)イオン ($\text{Fe}^{2+} + \text{Fe}^{3+}$)	20
(d) アルミニウム (Al^{3+})	100
(e) 水素イオン (H^+)	1
(f) 総硫黄(S) ($\text{HS}^- + \text{S}_2\text{O}_3^{2-} + \text{H}_2\text{S}$ に対応するもの)	2
(g) ラドン (Rn)	$30 \times 10^{-10} \text{Ci} = 111 \text{Bq}$ 以上 (8.25 マッヘ単位/kg以上)

1) 特殊成分を含む単純冷鉱泉

第1-3表に掲げる特殊成分のうち少くともいづれか1つをその限界値以上に含有し、溶存物質質量（ガス成分を除く）が1g/kg未満で泉温もまた25℃未満の療養泉を単純冷鉱泉とし、これを下記のように細分する。

(a) 単純二酸化炭素冷鉱泉

二酸化炭素1,000mg/kg以上を含む冷鉱泉である。

(b) 単純鉄冷鉱泉

鉄(II)イオンおよび鉄(III)イオンの総量が、20mg/kg以上の冷鉱泉である。

(c) 単純酸性冷鉱泉

水素イオン1mg/kg以上を含む冷鉱泉である。

(d) 単純硫黄冷鉱泉

総硫黄2mg/kg以上を含む単純冷鉱泉である。

(e) 単純放射能冷鉱泉

ラドン $30 \times 10^{-10} \text{Ci/kg}$ 以上 (8.25 マッヘ単位/kg以上) を含む単純冷鉱泉である。ラドン含量に

* 例えば陽イオンが Na^+ を主成分とし、陰イオンが HSO_4^- 35mval%、 SO_4^{2-} が37mval%のとき酸性—ナトリウム—硫酸塩・硫酸水素塩泉とせず、酸性—ナトリウム—硫酸塩泉とする。

従い更に次の2種に分類する。

- (イ) 単純弱放射能冷鉱泉
ラドン含有量 8.25 マッヘ単位/kg 以上 50 マッヘ単位/kg 未満のもの
- (ロ) 単純放射能冷鉱泉
ラドン含有量 50 マッヘ単位/kg 以上のもの。

2) 特殊成分を含む単純温泉

特殊成分を含む単純温泉は、単純冷鉱泉に準じて次のとおり細分する。

- (a) 単純二酸化炭素温泉
- (b) 単純鉄温泉
- (c) 単純酸性温泉
- (d) 単純硫黄温泉

硫黄が遊離硫化水素の型で主として含有されるもの(旧硫化水素泉)と含有されない場合(旧硫黄泉)とを区別する必要のある場合、前者に硫化水素型と附記して区別する。

含硫黄〇〇泉(後記)についても同様とする。

- (e) 単純放射能温泉
 - (イ) 単純弱放射能温泉
 - (ロ) 単純放射能温泉

単純温泉、単純冷鉱泉で、特殊成分について、陰イオンの主成分を区別する必要のある場合(旧緑礬泉と、炭酸鉄泉など)には例えば単純鉄温泉(硫酸鉄型)と附記してもよい。

3) 特殊成分を含む塩類泉

- (a) 水素イオンを 1 mg/kg 以上含有する塩類泉は泉質名の始めに「酸性」を附記する。

〈例示〉 酸性—ナトリウム—硫酸塩泉

- (b) 二酸化炭素、銅、鉄、アルミニウム、総硫黄お

よびラドンを第1-3表の限界値以上含有する塩類泉については、「含二酸化炭素」、「含銅」、「含鉄」などと泉質名の始めに附記する。*

〈例示〉 含二酸化炭素—ナトリウム—炭酸水素塩泉
含放射能—ナトリウム—塩化物泉

(4) 特殊成分を2種以上含む療養泉

第1-3表に掲げる特殊成分を2種以上含有する場合には次の例示のように命名する。

〈例示〉

含弱放射能・アルミニウム—マグネシウム—硫酸塩泉

酸性・含硫黄—ナトリウム—硫酸塩泉

(5) 泉温による塩類泉の分類

塩類泉を温泉と冷鉱泉に分類する。

〈例示〉

ナトリウム—塩化物強塩冷鉱泉

マグネシウム—硫酸塩温泉

(6) 副成分による塩類泉の細分類

mval%が20以上の成分を、多い順に列記して塩類泉を細分類する。

〈例示〉

ナトリウム・カルシウム—塩化物・硫酸塩泉

酸性—ナトリウム・鉄(II)—硫酸塩・塩化物泉*

酸性・含鉄(II, III)—ナトリウム・塩化物・硫酸塩泉

(特殊成分) — (陽イオン) — (陰イオン)

第1-4表 新旧泉質名対照表

- ・温泉と冷鉱泉の区別は省略し「泉」と記す。
- ・鉄は鉄(II), 鉄(III)があるが、鉄(II), Fe(II)で代表した。
- ・略記は新泉質の略記法を示す。

旧 泉 質 名	新 泉 質 名	略 記 泉 質 名
1. 単 純 温 泉	単純温泉・アルカリ性単純温泉	
2. 単 純 炭 酸 泉	単純二酸化炭素泉	単純 CO ₂ 泉
3. 重 炭 酸 土 類 泉	カルシウム(・マグネシウム)—炭酸水素塩泉	Ca(・Mg)-HCO ₃ 泉
(a) 純重炭酸土類泉	カルシウム(・マグネシウム)—炭酸水素塩泉	Ca(・Mg)-HCO ₃ 泉
(b) 含炭酸—土類泉	含二酸化炭素—カルシウム(・マグネシウム)—炭酸水素塩泉	含 CO ₂ -Ca(・Mg)-HCO ₃ 泉
(c) 含食塩—重炭酸土類泉	カルシウム(・マグネシウム)・ナトリウム—炭酸水素塩・塩化物泉	Ca(・Mg)・Na-HCO ₃ ・Cl 泉

*1 この場合(6)の副成分の分類法によるとき、鉄(III)やアルミニウムの成分名が明記されるときは「含鉄(II)」、 「含アルミニウム」などとしなす。

*2 鉄(IIまたはIII)イオンが 20 mg/kg 以上かつ、20mval%以上でも酸性・含鉄(II, III)—ナトリウム・鉄(II, III)—硫酸塩・塩化物泉と命名しない。

旧 泉 質 名	新 泉 質 名	略 記 泉 質 名
(d) 含芒硝—重碳酸土類泉	カルシウム(・マグネシウム)・ナトリウム—炭酸水素塩・硫酸塩泉	Ca(・Mg)・Na-HCO ₃ ・SO ₄ 泉
4. 重 曹 泉	ナトリウム—炭酸水素塩泉	Na-HCO ₃ 泉
(a) 純 重 曹 泉	ナトリウム—炭酸水素塩泉	Na-HCO ₃ 泉
(b) 含炭酸—重曹泉	含二酸化炭素—ナトリウム—炭酸水素塩泉	含 CO ₂ -Na-HCO ₃ 泉
(c) 含食塩—重曹泉	ナトリウム—炭酸水素塩・塩化物泉	Na-HCO ₃ ・Cl 泉
(d) 含芒硝—重曹泉	ナトリウム—炭酸水素塩・硫酸塩泉	Na-HCO ₃ ・SO ₄ 泉
(e) 含食塩・含芒—重曹泉	ナトリウム—炭酸水素塩・塩化物・硫酸塩泉	Na-HCO ₃ ・Cl・SO ₄ 泉
(f) 含土類—重曹泉	ナトリウム・カルシウム(・マグネシウム)—炭酸水素塩泉	Na・Ca(・Mg)-HCO ₃ 泉
5. 食 塩 泉	ナトリウム—塩化物泉	Na-Cl 泉
(a) 純 食 塩 泉	ナトリウム—塩化物泉	Na-Cl 泉
(b) 含炭酸—食塩泉	含二酸化炭素—ナトリウム—塩化物泉	含 CO ₂ -Na-Cl 泉
(c) 強 食 塩 泉	ナトリウム—塩化物強塩泉	Na-Cl 強塩泉
(d) 弱 食 塩 泉	ナトリウム—塩化物泉	Na-Cl 泉
(e) 含重曹—食塩泉	ナトリウム—塩化物・炭酸水素塩泉	Na-Cl・HCO ₃ 泉
(f) 含芒硝—食塩泉	ナトリウム—塩化物・硫酸塩泉	Na-Cl・SO ₄ 泉
(g) 含芒硝・重曹—食塩泉	ナトリウム—塩化物・硫酸塩・炭酸水素塩泉	Na-Cl・SO ₄ ・HCO ₃ 泉
(h) 含塩化土類—食塩泉	ナトリウム・マグネシウム(・カルシウム)—塩化物泉	Na・Mg(・Ca)-Cl 泉
(i) 含土類—食塩泉	ナトリウム・カルシウム(・マグネシウム)—塩化物・炭酸水素塩泉	Na・Ca(・Mg)-Cl・HCO ₃ 泉
(j) 含土類・石膏—食塩泉	ナトリウム・カルシウム—塩化物・炭酸水素塩・硫酸塩泉	Na・Ca-Cl・HCO ₃ ・SO ₄ 泉
(k) 含臭素—食塩泉	小分類を廃止。ナトリウム—塩化物泉	Na-Cl 泉
(l) 含ヨウ素—食塩泉	小分類を廃止。ナトリウム—塩化物泉	Na-Cl 泉
(m) 含臭素・ヨウ素—食塩泉	小分類を廃止。ナトリウム—塩化物泉	Na-Cl 泉
(n) 含ホウ酸—食塩泉	小分類を廃止。ナトリウム—塩化物泉	Na-Cl 泉
6. 硫 酸 塩 泉	硫 酸 塩 泉	SO ₄ 泉
(a) 純 硫 酸 塩 泉	硫 酸 塩 泉	SO ₄ 泉
(b) 正 苦 味 泉	マグネシウム—硫酸塩泉	Mg-SO ₄ 泉
(c) 芒 硝 泉	ナトリウム—硫酸塩泉	Na-SO ₄ 泉
(d) 石 膏 泉	カルシウム—硫酸塩泉	Ca-SO ₄ 泉
(e) 含食塩—芒硝泉	ナトリウム—硫酸塩・塩化物泉	Na-SO ₄ ・Cl 泉
(f) 含食塩—石膏泉	カルシウム・ナトリウム—硫酸塩・塩化物泉	Ca・Na-SO ₄ ・Cl 泉
(g) 含食塩—正苦味泉	マグネシウム・ナトリウム—硫酸塩・塩化物泉	Mg・Na-SO ₄ ・Cl 泉
7. 鉄 泉		
(i) 炭 酸 鉄 泉	(鉄(II)—炭酸水素塩泉)	(Fe(II)-HCO ₃ 泉)
(a) 単純炭酸鉄泉	単純鉄(II)泉(炭酸水素塩型)	単純 Fe(II)泉(HCO ₃ 型)
(b) 含炭酸・鉄泉	含鉄・二酸化炭素—カルシウム—炭酸水素塩泉	含 Fe(II)・CO ₂ -Ca-HCO ₃ 泉
(c) 土類炭酸鉄泉	カルシウム(・マグネシウム)・鉄(II)—炭酸水素塩泉または含鉄(II)—カルシウム(・マグネシウム)—炭酸水素塩泉	Ca(・Mg)・Fe(II)-HCO ₃ 泉 含 Fe(II)-Ca(・Mg)-HCO ₃ 泉
① 純土類炭酸鉄泉	カルシウム(・マグネシウム)・鉄(II)—炭酸水素塩泉または含鉄(II)—カルシウム(・マグネシウム)—炭酸水素塩泉	Ca(・Mg)・Fe(II)-HCO ₃ 泉 含 Fe(II)-Ca(・Mg)-HCO ₃ 泉
② 含食塩—土類炭酸鉄泉	カルシウム(・マグネシウム)・ナトリウム・鉄(II)—炭酸水素塩・塩化物泉または含鉄(II)—カルシウム(・マグネシウム)・ナトリウム—炭酸水素塩・塩化物泉	Ca(・Mg)・Na・Fe(II)-HCO ₃ ・Cl 泉 含 Fe(II)-Ca(・Mg)・Na-HCO ₃ ・Cl 泉
③ 含芒硝—土類炭酸鉄泉	カルシウム(・マグネシウム)・ナトリウム・鉄(II)—炭酸水素塩・硫酸塩泉または含鉄—カルシウム(・マグネシウム)・ナトリウム—炭酸水素塩・硫酸塩泉	Ca(・Mg)・Na・Fe(II)-HCO ₃ ・SO ₄ 泉 含 Fe(II)-Ca(・Mg)・Na-HCO ₃ ・SO ₄ 泉
(d) 重 曹 炭 酸 鉄 泉	ナトリウム・鉄(II)—炭酸水素塩泉または含鉄(II)—ナトリウム—炭酸水素塩泉	Na・Fe(II)-HCO ₃ 泉 含 Fe(II)-Na-HCO ₃ 泉
④ 純重曹・炭酸鉄泉	ナトリウム・鉄(II)—炭酸水素塩泉または含鉄(II)—ナトリウム—炭酸水素塩泉	Na・Fe(II)-HCO ₃ 泉 含 Fe(II)-Na-HCO ₃ 泉
⑤ 含食塩—重曹炭酸鉄泉	ナトリウム・鉄(II)—炭酸水素塩・塩化物泉または含鉄(II)—ナトリウム—炭酸水素塩・塩化物泉	Na・Fe(II)-HCO ₃ ・Cl 泉 含 Fe(II)-Na-HCO ₃ ・Cl 泉

旧 泉 質 名	新 泉 質 名	略 記 泉 質 名
㉔ 含芒硝一重曹炭酸鉄泉	ナトリウム・鉄(II)一炭酸水素塩・硫酸塩泉または含鉄(II)一ナトリウム一炭酸水素塩・硫酸塩泉	Na・Fe(II)-HCO ₃ ・SO ₄ 泉 含 Fe(II)-Na-HCO ₃ ・SO ₄ 泉
㉕ 含食塩・芒硝一重曹炭酸鉄泉	ナトリウム・鉄(II)一炭酸水素塩・塩化物・硫酸塩泉または含鉄(II)一ナトリウム一炭酸水素塩・塩化物・硫酸塩泉	Na・Fe(II)-HCO ₃ ・Cl・SO ₄ 泉 含 Fe(II)-Na-HCO ₃ ・Cl・SO ₄ 泉
㉖ 含土類一重曹炭酸鉄泉	ナトリウム・カルシウム(・マグネシウム)・鉄(II)一炭酸水素塩泉または含鉄(II)一ナトリウム・カルシウム(・マグネシウム)一炭酸水素塩泉	Na・Ca(・Mg)・Fe(II)-HCO ₃ 泉 含 Fe(II)-Na・Ca(・Mg)-HCO ₃ 泉
(e) 含食塩一炭酸鉄泉	ナトリウム・鉄(II)一塩化物・炭酸水素塩泉または含鉄(II)一ナトリウム一塩化物(・炭酸水素塩)泉	Na・Fe(II)-Cl・HCO ₃ 泉 含 Fe(II)-Na-Cl(・HCO ₃) 泉
(f) 含硫酸塩一炭酸鉄泉	ナトリウム・鉄(II)一硫酸塩・炭酸水素塩泉または含鉄(II)一ナトリウム一硫酸塩(・炭酸水素塩)泉	Na・Fe(II)-SO ₄ ・HCO ₃ 泉 含 Fe(II)-Na-SO ₄ (・HCO ₃) 泉
8. 緑 礬 泉	(鉄(II)一硫酸塩泉)	(Fe(II)-SO ₄ 泉)
(a) 単純緑礬泉	単純鉄泉(硫酸塩型)	単純 Fe(II) 泉 (SO ₄ 型)
(b) 酸性緑礬泉	酸性一鉄(II)一硫酸塩泉	酸性-Fe(II)-SO ₄ 泉
(c) 含ヒ素緑礬泉	小分類を廃止。鉄(II)一硫酸塩泉	Fe(II)-SO ₄ 泉
(d) 含明礬・緑礬泉	アルミニウム・鉄(II)一硫酸塩泉または含鉄(II)一アルミニウム一硫酸塩泉	Al・Fe(II)-SO ₄ 泉 含 Fe(II)-Al-SO ₄ 泉
9. 硫 黄 泉		
(1) 硫黄泉(狭義の)		
(a) 単純硫黄泉	単純硫黄泉	単純 S 泉
(b) 含食塩一硫黄泉	含硫黄一ナトリウム一塩化物泉	含 S-Na-Cl 泉
(c) 含食塩重曹一硫黄泉	含硫黄一ナトリウム一塩化物・炭酸水素塩泉	含 S-Na-Cl・HCO ₃ 泉
(2) 硫化水素泉		
(a) 単純硫化水素泉	単純硫黄泉(硫化水素型)	単純 S 泉 (H ₂ S 型)
(b) 酸性硫化水素泉	酸性一含硫黄・(ナトリウム)一硫酸塩泉(硫化水素型)	酸性・含 S-(Na)-SO ₄ 泉 (H ₂ S 型)
(c) 土類硫化水素泉	含硫黄一カルシウム(・マグネシウム)一炭酸水素塩泉(硫化水素型)	含 S-Ca(・Mg)-HCO ₃ 泉 (H ₂ S 型)
㉗ 含食塩一土類硫化水素泉	含硫黄一カルシウム(・マグネシウム)・ナトリウム一炭酸水素塩・塩化物泉(硫化水素型)	含 S-Ca(・Mg)・Na-HCO ₃ ・Cl 泉 (H ₂ S 型)
㉘ 含石膏一土類硫化水素泉	含硫黄一カルシウム(・マグネシウム)一炭酸水素塩・硫酸塩泉(硫化水素型)	含 S-Ca(・Mg)-HCO ₃ ・SO ₄ 泉 (H ₂ S 型)
(d) 重曹硫化水素泉	含硫黄一ナトリウム一炭酸水素塩泉(硫化水素型)	含 S-Na-HCO ₃ 泉 (H ₂ S 型)
㉙ 重曹硫化水素泉	含硫黄一ナトリウム一炭酸水素塩泉(硫化水素型)	含 S-Na-HCO ₃ 泉 (H ₂ S 型)
㉚ 含芒硝一重曹硫化水素泉	含硫黄一ナトリウム一炭酸水素塩・硫酸塩泉(硫化水素型)	含 S-Na-HCO ₃ ・SO ₄ 泉 (H ₂ S 型)
(e) 塩化物硫化水素泉		
㉛ 食塩硫化水素泉	含硫黄一ナトリウム一塩化物泉(硫化水素型)	含 S-Na-Cl 泉 (H ₂ S 型)
㉜ 塩化土類硫化水素泉	含硫黄一カルシウム(・マグネシウム)一塩化物泉(硫化水素型)	含 S-Ca(・Mg)-Cl 泉 (H ₂ S 型)
㉝ 含重曹一食塩硫化水素泉	含硫黄一ナトリウム一塩化物・炭酸水素塩泉(硫化水素型)	含 S-Na-Cl・HCO ₃ 泉 (H ₂ S 型)
㉞ 含石膏一食塩硫化水素泉	含硫黄一ナトリウム・カルシウム一塩化物・硫酸塩泉(硫化水素型)	含 S-Na・Ca-Cl・SO ₄ 泉 (H ₂ S 型)
(f) 硫酸塩硫化水素泉		
㉟ 石膏硫化水素泉	含硫黄一カルシウム一硫酸塩泉(硫化水素型)	含 S-Ca-SO ₄ 泉 (H ₂ S 型)
㊱ 含食塩一芒硝硫化水素泉	含硫黄一ナトリウム一硫酸塩・塩化物泉(硫化水素型)	含 S-Na-SO ₄ ・Cl 泉 (H ₂ S 型)
㊲ 含食塩一石膏硫化水素泉	含硫黄一カルシウム・ナトリウム一硫酸塩・塩化物泉(硫化水素型)	含 S-Ca・Na-SO ₄ ・Cl 泉 (H ₂ S 型)
10. 酸 性 泉		
(a) 単純酸性泉	単純酸性泉	単純酸性泉
11. 放 射 能 泉		
	単純弱放射能泉	単純弱 Rn 泉
	単純放射能泉	単純 Rn 泉
	含弱放射能一〇〇泉	含弱 Rn-〇-〇泉
	または含放射能一〇〇泉	含 Rn-〇-〇泉